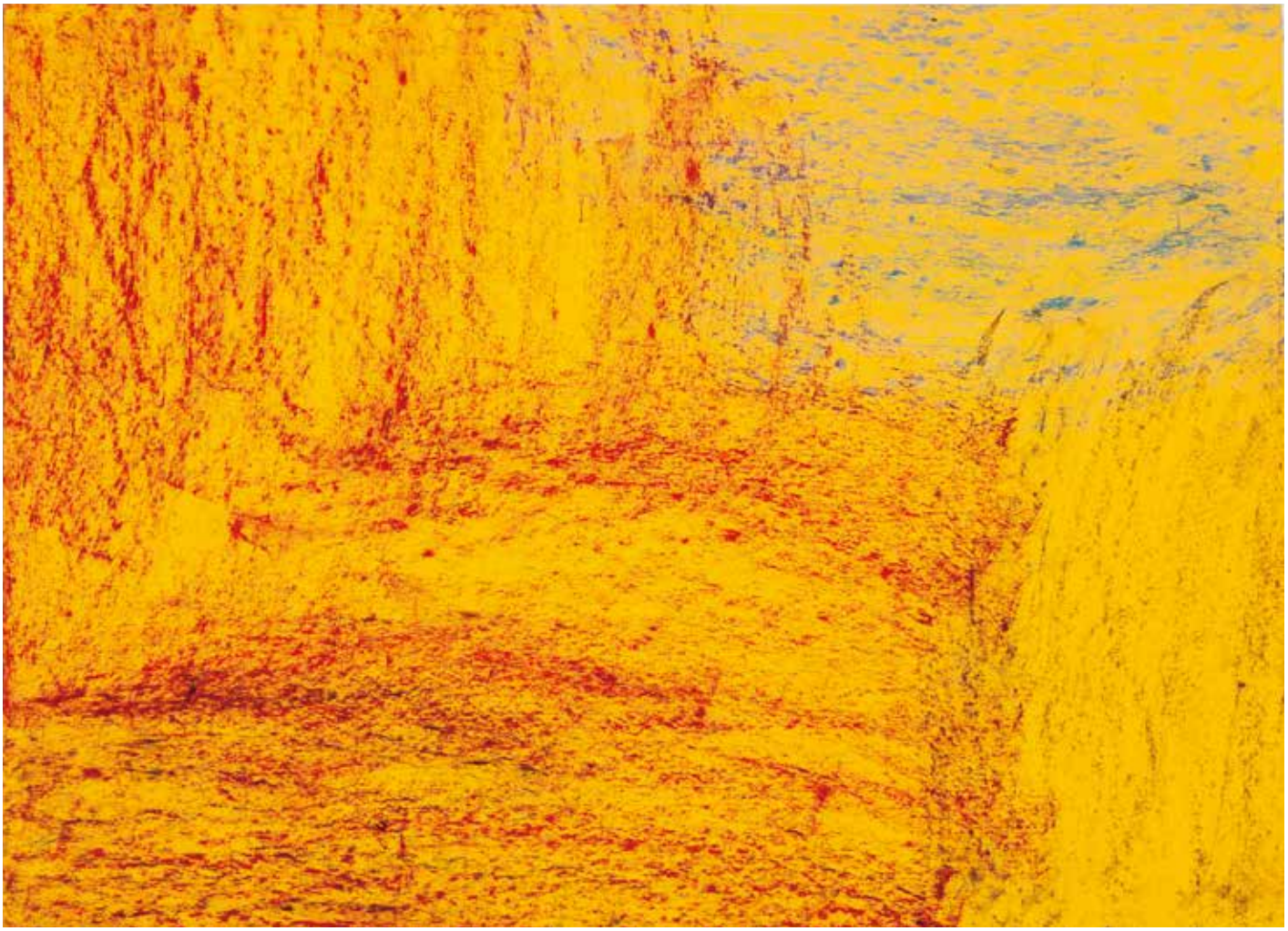
天才アート KYOTO®

天才アートとは、障碍のある人やひきこもりの人などの多くがもっている優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品に対して、NPO 法人 障碍者芸術推進研究機構（天才アート KYOTO）が独自にネーミングしたものです。当機構は天才アートを推進し、その啓発・普及活動を積極的に行っています。

会報 No.44 天才アート

発行日　2026年9月29日（火）
発行者　特定非営利活動法人
障碍者芸術推進研究機構
天才アート KYOTO
発行所　〒603-8226
京都市北区紫野西舟岡町2番地
ふれあい共生館「きたアトリエ」
info@tensai-art.kyoto
http://tensai-art.kyoto
編集協力　株式会社 三六六

天才アート　検索



川嶋 誉大　Yoshihiro Kawashima 『無題』 画用紙・クレパス、W395×H546mm、2024 年制作

展覧会報告

高台寺利生堂にて 第4回日本国際芸術祭 天才アート Selection 展開催

２０２６年９月21日（月祝）から９月30日（水）まで、鷲峰山 高台寺「利生堂」を会場に「天才アート Selection 展」を開催しました。同展は、大阪・関西万博を契機として２０２３年にスタートした日本国際芸術祭の第４回展示の一環で、（一社）夢洲新産業・都市創造機構の主催により、当機構が企画主宰したものです。

本展では、本年11月21日（土）から開催する第14回「天才アート展２０２６ Open Studios」に先がけ、７人の作家による作品を特別に紹介しました。あわせて、これまで13回にわたって開催してきた天才アート展の作品の一部を展示し、その歩みを振り返りました。

利生堂を会場に作品を展示するのは'24年の第２回展に続き２度目。鷲峰山高台寺 利生堂に広がる歴史ある空間と、自由で独創的なアートが響き合う、この期間だけの特別な展示は、堂内の大涅槃図と親和し、好評を博しました。高台寺には市民はもちろん国内外から多くの観光客が訪れ、海外の皆さまにも天才アートＫＹＯＴＯの活動を知っていただく機会になりました。



「天才アートSelection展」のチラシ

会期　26年9月21日（月祝）～9月30日（水）
時間　９時30分～16時30分
※初日は14時から、最終日は15時まで
会場　鷲峰山 高台寺「利生堂」（京都市東山区高台寺下河原町５２６）
※入場無料
主催　（一社）夢洲新産業・都市創造機構
特別協力　鷲峰山 高台寺
企画主宰　ＮＰＯ法人障碍者芸術推進研究機構（天才アートＫＹＯＴＯ）



会場の鷲峰山高台寺 利生堂


利生堂内に建てた4本の三角柱に7人の作品を展示



展覧会 予告

天才アート展2026 Open Studiosと青空美術館 in 船岡山公園を同時開催

「第14回天才アート展２０２６」は、アトリエを解放するOpen Studio形式で開催し、作家の制作の様子などもご覧いただけます。また、同じ期間にきたアトリエ近くの船岡山公園にアートパネルを展示する「青空美術館 in 船岡山公園」も実施します。公園での展示と同時開催は初めての試みで、室内と屋外の両面でアートをお楽しみいただけます。

●天才アート展2026 Open Studios

「天才アート展」は、第1回「天才アートミュージアム展２０１２」を皮切りに、２０１９年を除いて毎年開催し、本年、14回を迎えます。今回は「きたアトリエ」を会場にOpen Studios形式で開催します。

会期　2026 11.21(sat)–12.6(sun)
11:00a.m.–5:00p.m.
※11月24日（火）・12月1日（火）は休館
入場無料

会場　天才アートKYOTOきたアトリエ
（京都市北区紫野西舟岡町2番地）

主催　NPO法人 障碍者芸術推進研究機構
（天才アートKYOTO）

共催　京都市・京都市教育委員会

特別協賛　（株）SCREENホールディングス

助成　一般財団法人NISSHA財団

協賛　洛和会ヘルスケアシステム

連携企画　第４回日本国際芸術祭

●青空美術館 in 船岡山公園

青空美術館は、当機構の作品アーカイブデータを活用して耐候性のある大型パネルを製作し、建設工事や解体工事現場の囲い塀に展示するプロジェクトで、２０１３年にスタート。現在まで市内など20カ所の工事現場などにアートの彩りを添え、周囲に和みと華やぎを与えるとともに、不特定多数の方々に作品を紹介してきました。

今回は、従来の工事現場囲い塀とは異なり、船岡山公園の緑豊かな自然環境のもと、アートパネルを活用した「青空美術館」となります。個性的で色彩豊かな作品を24時間、こころゆくまでお楽しみください。

会期：2026 11.21(sat)–12.6(sun)
※24時間鑑賞可能　入場無料

会場　船岡山公園 入り口～広場
（京都市北区紫野北舟岡町）

主催　NPO法人 障碍者芸術推進研究機構
（天才アートKYOTO）

共催　京都市・京都市教育委員会

特別協賛　（株）SCREENホールディングス



第10回「公共空間にアートの彩り！展」を開催

今年で第10回を迎えた「公共空間にアートの彩り！展」。同展は、京都市や阪急電鉄などの連携と京都オムロン地域協力金の助成によって開催しています。無機質な壁面に囲まれ、殺風景になりがちな地下道などの公共空間に、当機構作品データで作成したB1サイズのポスターパネルを展示し、「アートの彩り」で明るく活力のある空間を創り出す取り組みです。今回は、50枚のポスターパネルと挨拶パネル2枚の合計52枚のパネルを展示する予定です。

会期　'26年12月10日（木）～'27年2月4日（木）

会場　四条通地下道（下京区麩屋町通付近～富小路通付近の間）

主催　NPO法人障碍者芸術推進研究機構
（天才アートKYOTO）

協力　京都市歩くまち京都推進室・
阪急電鉄（株）

助成　（公財）京都オムロン地域協力基金


昨年開催した第9回の展示風景

TENSAI ART NOTE 天才アートノート



ゲシュタルト崩壊フラグ

『Gesyu Chan_s Inner Religious Paintings』　2025年制作



『commercial』　2024年制作

富田 晃生

富田 晃生　Akio Tomita　1989年生

富田はテレビ CM などの膨大な「映像」で見た企業ロゴタイプを元に、厚紙をハサミで切って形を作り、台紙に透明テープで巻きつけて固定し、コーティングして制作しています。
作品は、透明テープの硬質な質感によって「ロゴ」を映し出す「ディスプレイ」となり、並外れた映像記憶能力を有する彼の「外部記憶装置」へも変貌します。作品の前に立った観客は、個人の記憶を超えて、「日本の30年のCMの歴史」を共有するのです。
制作に用いる厚紙素材は、決して市販の画材ではなく、家庭で用済みとなったあらゆる商品のパッケージ箱を分解して使用します。そのため、富田作品には「個人の消費の歴史」といった側面も有することになります。



『commercial』　2026年制作

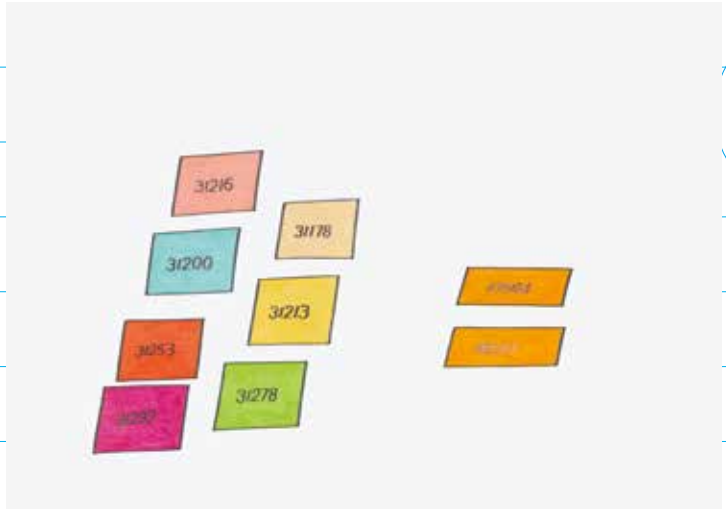
ゲシュタルト崩壊フラグ
Gestalt collapse flag　2000 年生

作者は、14 歳の頃から「ゲシュタルト崩壊フラグ」（注）と自ら称しています。その作品にはどことなくユーモラスさがありますが、（しばしば残酷で猟奇的な目にあう）少女や生物が背景に侵食され、その名の通りいつ足元から「世界そのものが崩壊してもおかしくない」危うさや不穏さがあります。

（注）「ゲシュタルト崩壊」（認知情報処理過程によって発生する知覚における現象）＋「フラグ」（伏線や予測、定型パターンといったネット上にしばしば登場するストーリー展開の用語）から



『Gesyu Chan and the Embodiment of Love』 2025年制作

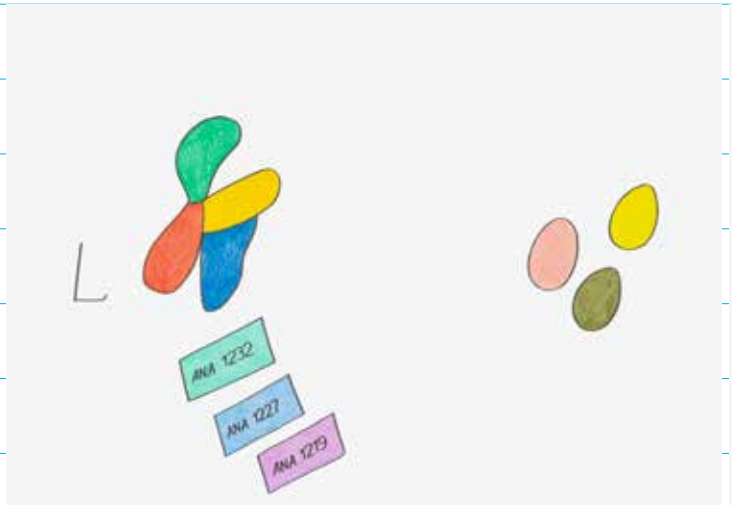


知原 諒汰

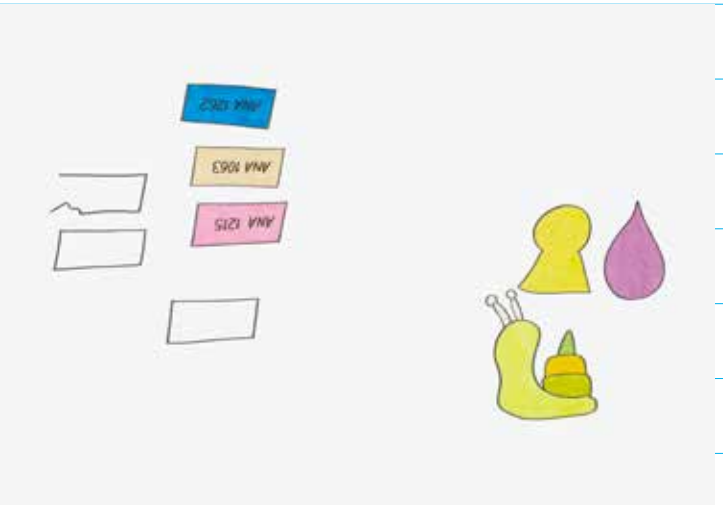
知原 諒汰　Ryota Chihara　1999年生

知原には、紙に丁寧にレタリングしたかのように描かれた数字のドローイングシリーズがあります。ただの数字の羅列のこともあれば、実在のラジオ局の周波数であったりと、彼にしか分からない特定の意味を持つこともあります。ほかに、絵の具で不定形な模様をさまざまな色で紙に描く作品もあります。
近年さまざまなモチーフ（キャラクターと数字と色彩）が融合されたかのようなシリーズの制作が始まりました。知原作品を前にした時、世界が謎の数字と多様な色彩で溢れていることを教えてくれます。

『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H258×W369mm、2024年制作



『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H257×W369mm、2024年制作



『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H257×W369mm、2024年制作作

ご家族さまより寄稿

創作は未来へ向かって 歩き続けるための大切な営み

小路 妃香里
（川田優也の姉）

●発病と未来の夢

弟の病（筋ジストロフィー）を告げられたのは、私が10歳のときでした。幼いながらも「いずれ歩けなくなるかもしれない」「命の時間に限りがあるかもしれない」という現実だけは理解していました。

それでも当時の弟は、未来に向かってまっすぐでした。警察官になりたいと言い、レゴブロックで警察車両を作ったり、トミカで事件現場を再現したり、夢中になって遊んでいました。その延長で、パトカーやSWATが事件現場に集まる様子を絵に描いていたことを覚えています。

子どものらくがきではありましたが、人の動きや表情、車の配置に独特の躍動感があり、私はその絵に「弟らしい生命力」を感じていました。

●病気と進路の狭間

高校生になる頃、私は教師を目指しながらアルバイトで家計を支えていました。そんな私や母を思ってか、弟は「経済学部に進んで起業し、家計を支えたい」と言うようになりました。

その言葉は優しさから出たものだと分かっていましたが、どこか無理をしているようにも見えました。弟は昔から絵を描いたり、何かを作ったりする時間がいちばん楽しそうで、そこに自然な才能があると感じていたからです。私自身も芸術の道に憧れた時期があったので、「私の分まで、好きなことをして生きてほしい」という願いもありました。

●大学進学で開花した才能

ある日、私は弟にこう伝えました。

「私が教師になって家計は支えるから、優也は自分の好きなことをして生きた方がいいと思うよ」

その言葉が弟の背中を押したのか、彼は進路を大きく変える決心をしました。画塾に通いながら京都精華大学デザイン学部を目指し、1年浪人して努力を重ね、大学院まで進学しました。そこで独自の色彩感覚を活かしたデザイン法を見出し、今の創作スタイルへと繋がっていきます。

●制作こそが生きがい

病の進行とともに身体の自由は少しずつ奪われていますが、制作だけは手放しませんでした。指が思うように動かなくなっても、時間をかけて作品を仕上げていく姿には、かつてレゴやトミカで世界を作り上げていた頃と同じ集中力と喜びがあるように感じます。

今では、制作することそのものが弟の生きがいになっています。身体の制約が増えていく中でも、創作は弟にとって「自分の世界を自由に創造できる時間」であり、「未来へ向かって歩き続けるための大切な営み」なのだと思います。





大学時代に制作した色紙作品　左：「地球ファッションショー開幕」、右：「水蒸気と熱が美しいワルツを奏る」





京都市東山区の「ギャラリー胡々湾」で開催した個展「KAWATA GRAPHIC展」（2026年9月16日～19日）のチラシ（上）と個展会場の優也と私（下）



最近の作品「honey bee 18」



最近の作品「らぶりー」

洛和会音羽病院さまの複製画の入れ替えを実施

洛和会音羽病院さまでは、当機構の活動に賛同していただき、２０１６年から患者さまや来院される方が気軽にアートに触れられ、誰もが和む明るい空間づくりとして、院内ロビーに複製画の「天才アートギャラリー」を設けていただいています。

このたび、年１回の作品の入れ替えを実施しました。入れ替えにあたっては、作品の選択から搬入・設営・搬出まで全て当機構の主導で行い、２人のスタッフによって滞りなく全作業を完了しました。

病院を訪れる患者さまやご家族の皆さまからは、鮮やかな色づかいや想像を超えた作品の世界を楽しみにされている方も多くおられ、ロビーに彩りを与えています。医師やスタッフの皆さまからも好評で、作品の入れ替えによってロビーの雰囲気が変わる様子を実感されています。



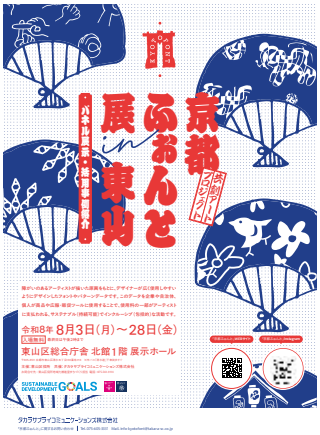
作品入れ替えが完了したロビーの「天才アートギャラリー」

「京都ふぉんと展 in 東山」をはじめ、多彩に展開

「京都ふぉんと」は、障がいのあるアーティストの原画をもとに、タカラサプライコミュニケーションズ株式会社のデザイナーがフォントやパターンとして制作し、企業や自治体、個人に商品や広報・販促ツールなどでご活用いただくことで、使用料の一部がアーティストへ還元される、サステナブル（持続可能）でインクルーシブ（包括的）な共創アートプロジェクトです。天才アートＫＹＯＴＯでも複数の作家の作品が採用されています。

その活動の一環として、２０２６年８月３日（月）から28日（金）まで東山区総合庁舎 北館１階展示ホールにて共創アートプロジェクト「京都ふぉんと展 in 東山」が開催されました。

本展示は、東山区役所との共催により開催する「京都ふぉんと」展の３回目。８月の人権強調月間に合わせ、障がいのあるアーティストの創造性や社会参加への理解を深めるとともに、「京都ふぉんと」のさらなる認知拡大と利活用の促進を目的として開催されました。



「京都ふぉんと展 in 東山」のチラシ

展示内容は、「京都ふぉんと」の作品パネルや活用事例紹介など多岐に渡っています。会場を訪れた市民や観光客の皆さんは、多彩な表現と数々の事例を熱心にご覧になっていました。

また、このたび「京都ふぉんと」の商標登録が認められました。これを機会に地域・企業・福祉をつなぐ共創事業としてさらに発展が期待されます。





活用事例：水玉みりさんの作品を使ったノート

天才アートKYOTOのパネル展示（写真提供：いずれもタカラサプライコミュニケーションズ株式会社）
京都ふぉんとのHP　https://www.takara-sc.co.jp/kyoto_font/

吉村建設工業 大井現場事務所に青空美術館を設置

２０２６年７月、吉村建設工業株式会社さまの大井現場事務所に青空美術館第20号が設置されました。

同社の大井現場事務所は亀岡市大井町にあり、京都縦貫道の維持・管理・メンテナンス関連業務や、地域のメンテナンス・維持管理業務（植栽作業や草刈りなど）において、前線基地や施工管理の拠点として機能しています。

従来まで大井現場事務所のまわりは、白い無機質な囲い塀でしたが、青空美術館のアートパネルを設置することで、周辺の環境に彩りと華やかさが加わり、通行人の皆さまの関心を集めています。



吉村建設工業 大井現場事務所に設置された青空美術館20号の作品パネル

京都の伝統工芸によって作品に新たな価値を付加

伝統産業振興事業に取り組む一般社団法人ＪＣＦは、伝統産業が抱える課題に多角的にアプローチし、障がいのある人と伝統工芸の関わりにも積極的で、天才アートＫＹＯＴＯとも連携しています。

その取り組みの一環として、京都を中心とした伝統産業と障がい者アート（福祉）、グルメを融合させた地域密着型のイベント「京ふぇす」を本年2月から、東本願寺前「お東さん広場」や京都市役所前広場などで定期的に開催。当機構は青空美術館の作品パネルを提供し、来場のお客さまに鑑賞していただいています。

また、当機構登録作家の作品を京の伝統工芸にいかす取り組みもスタートし、その第一弾として水玉みりさんの作品を金彩職人がガラス皿に、三津田一輝さんの「力士の絵」を京焼清水焼に展開した試作品が完成しました。いずれも京もの認定工芸士によって一点一点丁寧に製作されており、伝統的な技術と現代的なデザインが融合した魅力を持っています。今後はnemuroさんによる京瓦の手描き作品も計画されており、出来上がりが楽しみです。

障がいのある人の個性豊かな感性を伝統工芸の分野でも活かした作品づくりを行い、新しい才能の発掘のきっかけになれば新たな展開につながると期待されています。





市役所前広場で開催された「京ふぇす」（上）
「お東さん広場」で開催された「京ふぇす」（下）





試作品の水玉みり作品のガラス皿（上）と三津田一輝さんの「力士の絵」の京焼清水焼（下）

〈編集後記〉

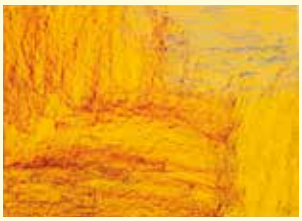
2度目となる高台寺利生堂での「天才アート展」では、海外からの観光客も含め、多くの皆さまにご来場いただき、感謝申し上げます。

また、今年度の「天才アート展」は、きたアトリエを会場にOpen Studio形式により、初めて「青空美術館 in 船岡山公園」と同時開催となります。「天才アート展」では作品と制作環境の両方が見られ、また「青空美術館」では公園という場所での作品パネルの鑑賞と、従来とは違ったアートの楽しみ方を味わっていただけると多います。皆さまのご来場を心からお待ち申し上げています。

【表紙の作品について】

川嶋はクレパスを寝かせて手に持ち、色画用紙に擦りつけることで、オール・オーヴァーな画面を必ず紙の表裏両面に描きます。彼はクレパスを「擦りつける」という行為そのものを楽しんでいるのです。そこに生まれるものは奥行きや何かを描いた形もなく、色彩と痕跡があるのみです。

彼が描く時はダイナミックに身体を全部使い、時にリズムをとりながら描いていきます。無心に楽しみながらも激しい動きから生まれた静謐な画面は、観る人によって多様な印象を抱かせます。



川嶋 誉大　Yoshihiro Kawashima
『無題』 画用紙・クレパス、
W395×H546mm、2024 年制作

HAGURUMA

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
(株)共立ホームエンジニアリング
06 (6788) 5402　kap@hyper.ocn.ne.jp

京都上鳥羽の印刷会社
MORITA
(有) 森田美術印刷
京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎075-692-3131
いのちを見つめ、人間を支える。
RKW 洛和会 ヘルスケアシステム®

SCREEN

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします
総合リスクコンサルタント
株式会社プラニ
☎ 075-353-2522

一般財団法人
NISSHA財団

妙心寺 塔頭
養徳院
永代供養のお寺　075-461-2898

Yoshimuna Construction co.,ltd.
吉村建設工業（株）
京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360